

第35期（平成30年度）全国PHP友の会活動方針

PHP社会を目指して

「素直な心」の絆をつないでいこう

PHP友の会設立41年目を迎える本年、PHP友の会の長い歴史の重みを尊重しながらも、時代に即応した活動を目指して組織を変革していきたいと思えます。今期は、友の会の会員に「勇気」や「希望」そして「夢」を与える、PHP友の会の未来像を描いてまいります。

◆PHP友の会の使命は、よりよい社会づくり

松下幸之助氏がPHP研究所を創設した昭和21年11月3日は第2次世界大戦が終結した翌年でした。大戦に敗れた日本は、政治・経済・社会等あらゆる面で極めて悲惨な状態にあり、松下幸之助氏はこの日本を何とかしなければならぬと、やむにやまれぬ強い思いから、繁栄による平和と幸福を目指すPHP運動をはじめました。

しかし近年の日本や世界の政治・経済は今も混迷を続けております。米国のトランプ大統領の誕生、英国の欧州連合（EU）からの離脱、中国やロシアの台頭、中東やアフリカでの内戦の激化等、いたるところで憎しみや争いの連鎖が広がっています。北朝鮮の核開発問題、欧州各国で頻発するテロの恐怖など、事例をあげると枚挙にいとまがありません。また国内でも毎日のように凶悪な事件が報道され、心が痛むことばかりです。こんな時代だからこそ、私たち一人ひとりが今一度、PHPの原点に立ちもどり、しっかりとPHPの理念を探究し、世の中に発信していく必要があります。明るく住み良い社会を目指し、PHP友の会活動をさらに発展させていきたいと思えます。

◆PHP友の会の未来のために、活動を継続・発展できる自律的な法人組織化を目指そう

PHP友の会は、発足以来ボランティアによる任意団体として活動してきましたが、これまでのようなボランティアにすべて頼った任意団体では、社会貢献や学びの充実、会員拡大などの活動が限界にきています。そこで昨年度、公益法人化を中長期の目標に掲げることとしました。公益法人になれば、社会的に認められる組織となり、社会により大きな貢献ができるとともに、仲間づくりにおいても信頼が得やすくなります。また着実に、独立した組織として継続・発展していく道を求めることもできます。

公益法人化への第一歩として、2017年1月より会費改定を行いました。会員の皆様のご理解とご協力に深く感謝申し上げます。これまでPHP友の会の活動は財務的に大きな赤字を抱え、PHP研究所からの資金援助で活動を継続してきました。しかし、収支が大きく合わないようでは活動を継続、発展することはできません。引き続き健全な財務体質を目指し、組織運営に取り組んでまいります。

◆仲間づくりで組織の拡大と前進を目指そう

現在の大きな課題は、仲間を増やし、次の世代に活動をバトンタッチしていくことです。そのため

に、会員、各グループ、地区、エリア、全国という役割分担を明確にした組織づくりを3年前からスタートさせました。会員一人ひとりがPHP友の会活動の役割を担い、活動を推進していくことを目指しています。会員が各々目標をもち、2020年（平成32年）東京オリンピック開催年には会員数5,000名を実現したいと思います。引き続き、会員の皆様におかれましては、それぞれのお立場で一層のご支援を賜りたく存じます。

今期は、以下の活動に重点をおき、会員数5,000名実現に向けて取り組んでいきます。感謝の心と絆を大切にしながら、会員の総力を結集して夢に向かって、挑戦しましょう。

◆ 重点活動方針 ◆

1、PHP友の会の社会的認知度を高めよう

- ・ 広報活動の強化を目指す
- ・ 社会貢献活動を広げる

2、PHP友の会の組織を強化しよう

- ・ 拠点友の会、都道府県地区、エリア、全国の役員同士の連携・交流を図る
- ・ 「学び」「交流」「社会貢献」「仲間づくり」各部門のプロジェクトチームを立ち上げる
- ・ 「女子会グループ」「経営者グループ」などの組織づくりを行う
- ・ 国際交流会との関係を強化する

3、PHP友の会のリーダー「素直アドバイザー資格取得者」を増やそう

- ・ PHP友の会セミナー（ベーシック編・アドバンス編・エキスパート編）の受講者を増やす
- ・ 「素直アドバイザー」の活躍の場を広げる

4、PHP友の会の未来像を描こう

- ・ 公益法人化へのロードマップを作成する